

プロフィール



インタビュー

ある処置をした母胎に、
胚移植して生まれた産仔

名前	山中 貴寛 (Yamanaka Takahiro)
所属部署	広島大学 統合生命科学研究科
職種	研究員
この研究室に入った日	2021年 4月
出身地	千葉県
趣味	スキー、日本酒、手品 しまなみ海道ドライブ

Q1 現在の研究内容を教えてください。

加齢や肥満マウスをモデルに精子運動性や精液成分と性ホルモンの関係、それらが受精や着床に及ぼす影響を明らかにする研究をしています。最近ヒトの細胞も扱いながら、トランスレーショナルを見据えた研究に従事しています。広島大学に所属する繁殖生物会員の先生方にも助けをもらいながら、新しい発見と学びの日々を送っています。

Q2 研究者を志したきっかけは？

修士1年生で初めて論文が受理されたときに得られた達成感と、それ以上に感じた自身の無知さ・無力さに愕然とした経験。各ステージで尊敬する恩師・仲間に出会い、育ててもらったこと。こうして得た知識や経験、新しい発見を世の中に発信したいという思い。

Q3 若手研究者へのメッセージ

AIやIT技術が進歩し、実験手法なども急速に変化する中、少し勉強を怠るとすぐに最先端から置いていかれることを日々実感します。使われる/利用する側の人間ではなくて、使う側/作る側の人間になりましょう。困難に挑戦することがその第一歩だと信じています。